

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 29-015

PDCA	事務事業名	空の科学館・体育館管理運営事業		部課等名	教育部 生涯学習課 生涯学習担当		担当	新美		
							内線等	23-7341		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第6章 自立した地域経営のまち								
		節： 第1節 行財政運営とサービスの向上								
		基本施策： 1. 行政運営								
		単位施策： (2) 市民サービスの向上								
	根拠法令等	半田空の科学館条例、半田空の科学館条例施行規則								
	対象・目的	空の科学館は、一般市民が星や宇宙などの科学に興味を持ち、子どもたちの科学に対する学習意欲が高まるような魅力ある拠点施設として、また、体育館は、一般市民が楽しく、安全にスポーツやレクリエーション活動ができる拠点施設として適切に管理運営を行う。								
	目的を達成するための手段・活動内容	プラネタリウム投影、観望会、イベント、各種教室、企画展等星や宇宙への興味や学習意欲を高める魅力ある事業を開催する。 スポーツ施設として、安全で快適に利用できるよう体育館の適正な管理運営に努める。								
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		28年度	29年度	30年度	単位			
		①科学館利用者数		30,838	24,567	27,965	人			
		②								
		③								
		事業費		68,801	65,135	71,504	千円			
		人件費		1,588	1,269	1,249	千円			
		総事業費		70,389	66,404	72,753	千円			
		活動単位当たりのコスト		28年度	29年度	30年度	単位			
	①来館者一人当たりの事業コスト		2,283	2,703	2,602	円				
	②									
	③									
	成 果	成果指標		28年度	29年度	30年度	単位			
		①施設利用の満足度が「大変良かった」以上の割合	実績値	—	73.0	70.0	%			
			目標値	—	80.0	80.0				
②		実績値								
		目標値								
③		実績値								
	目標値									
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性				
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない			
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更				
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ある			
	事業の評価・課題	C								
		プラネタリウム投影、観望会、イベント、各種教室、企画展等星や宇宙への興味や学習意欲を高める魅力ある事業を実施し、来館者を増やすことができた。また講座受講者が知識を高めて講師となる仕組みをつくり、生涯学習推進を図った。 安全で快適に利用できるよう施設の適正な管理運営に努めた。								
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進							
			指定管理者制度のメリットを活かし、サービス向上と効率的運営に向け事業者と調整する。また、施設の設置目的に合った事業を実施できるよう協議を重ねる中で、来館者アンケート等により利用者のニーズを把握するとともに、市民が興味を持つイベントを企画する。							
		令和元年度の目標	成果指標				目標値	単位		
			①施設利用の満足度が「大変良かった」以上の割合				80	%		